

第36号

一般社団法人 日本音楽療法学会ニュース

発行 一般社団法人日本音楽療法学会

理事長 藤本 禮子 副理事長 土野 研治 副理事長 二俣 泉

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 HK浜松町ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337

新理事長・副理事長 ご挨拶

理事長
藤本 禮子

この度、日本音楽療法学会の理事長に就任いたしました。日野原重明先生、村井靖児先生の後継として身に余る大任ではございますが、会員の皆様と共に、全力で学会運営に取り組んで参る所存でございます。

2年間の任期中、以下の三点を中心に力を注いでまいります。

まず 第一は、音楽療法士国家資格化への取り組みです。

昨年9月から、学会設立時からの悲願である音楽療法士の国家資格化の道に曙光が見えて参りました。これからも険しく長い道が続きますが、成立に向けて全力を注ぎます。

第二は、村井前理事長が提案された上位資格の検討です。昨年10月、資格制度検討特別委員会がスーパーバイザー養成に向けて検討を開始しました。臨床の質の向上、音楽療法士の自立・成長に、スーパービジョンは欠かせません。2019年に開催される第19回学術大会では、スーパーバイザー養成講座が企画されています。

第三は、今期新たに開始する取り組み、音楽療法士の職能団体の検討です。現在学会認定音楽療法士は、約2,600名余りになりました。各地で音楽療法士が職能団体として活動を開始しているという情報が寄せられています。学会及び認定音楽療法士にとってどのような職能団体が良いのか、どのような可能性があるのか検討を開始したいと考えております。

以上3つの取組をお示ししましたが、音楽療法士の国家資格化という大きな課題を含むこれらの取り組みは、会員皆さまお一人お一人に直接深く関わる取り組みです。会員の皆さま全員のお力がどうしても必要です。情報を共有し意見を交わし合い、共に取組んでまいりましょう。

副理事長
土野 研治

この度、副理事長に選出され責任の重さを感じております。二俣泉副理事長とともに藤本禮子理事長を支え学会運営が円滑に行われるよう微力ではありますが努力したいと思っております。学会が学術研究と啓発などの社会発信をバンスよく行えるように務めます。また各支部との連携を密にし、支部の特性を生かしながら学会運営を行ってまいります。学会運営は会員の皆様のご理解とご協力なくしては成り立ちません。どうぞ忌憚のない建設的なご意見を賜りたいと思っております。一般社団法人化という節目にあたり、これまでの学会の在り方を振り返り、音楽療法がより社会に浸透するように歩みを進めてまいりたいと思っております。よろしく願いいたします。

副理事長
二俣 泉

副理事長に選任され、今般就任いたしました。土野研治副理事長と共に、藤本禮子理事長を補佐して参りたいと存じます。

昨年の世界大会では、世界の多彩な音楽療法に触れることができましたが、日本でも多様な音楽療法のアプローチが実践されています。「多様性」は、音楽療法発展の証左でしょう。学会内に、個々人の専門を磨くと同時に、お互いの多様性を認めあう文化があるのは素晴らしいことです。音楽療法に携わる人は「他者の音に耳を傾け、自らの音と響き合わせる」ことに長けているので、学会が相互の良さを認めあう集団であるのは必然なのかもしれません。

副理事長という「責任を担う」ことは緊張いたしますが、耳を傾けあい、響きをあわせていきながら、学会員の皆様と責任を担いあって参りたいと思っています。

第18回学術大会を終えて

大会実行委員長 三崎めぐみ

日本音楽療法学会の皆さま、2018年9月15、16日にサンポートホール高松において開催されました第18回学術大会にご参加、ありがとうございました。参加者は全部で1,487名となり、無事終了いたしましたことをご報告申し上げます。

「個が奏でるハーモニー」～対象者を見つめる音楽療法士の姿勢～を基本テーマに行われました本大会を思う存分学び、楽しんでいただけたでしょうか。

大会に先立ち行われた14日の講習会は20名の先生方をお願いいたしました。人気の顔ぶれの先生方のほかに、こちら中四国で活躍の様々な方面の先生方の講習も楽しんでいただけたと思います。ワークショップは講習会申し込みが始まってすぐに、その他の講義も続々定員いっぱいになりました。

大会開会式の最後に湯川先生によるメモリアルトークで日野原重明先生の思い出をお話いただき、お亡くなりになって1年、改めて先生の存在がいかに偉大だったのかを確認することができました。続く記念講演は岩崎淑先生の演奏と講演、若いバイオリニストとの共演は先生のアンサンブルピアニストとしての力を存分に見せていただくことができました。お話も朴訥とした語り口の中にちゃんと笑いとられ、今回のテーマ「個が奏でるハーモニー」へと結論を持っていただきました。大会1日目の午後は研究発表、自主シンポ、ひよこ・ひなどりフォーラム、ミニコンサートの盛りだくさんの時間になりました。どこを覗いても興味深い場所になったのではないかと思います。

今年から始まった若い音楽療法士のための枠、ひよこ・ひなどりフォーラムは吉村奈保子先生の丁寧な指導の下、発表者も聴衆も濃い時間を持つことができたと思っています。ミニコンサートは今大会のみの取り組みで各地で活躍する仲間の演奏活動を聞くという企画、私たちの予想をはるかに越す入場者の方々にびっくりするやら嬉しいやらの心境でした。また今回の自主シンポジウムの内容は興味深い内容が多く、どこの部屋にもたくさんの方が押し寄せ、部屋に入りきれない方がたくさんいるという事態に至り、ご迷惑おかけしたとお詫び申し上げます。そしてこの日の夜の大会メインイベント交流会はシャンソンで幕開け、続いて暗闇からのスポットライトで出演されたのは2017年度口笛世界大会第1位に輝く田所敦さん！その清らかな音色は参加者全員の心をとらえて、その演奏に息をのみました。そのまま会場は大いに盛り上がり全国からの会員同士で楽しい歓談の場となりました。

そして大会2日目の特別講演は脳科学者の茂木健一郎先生による「音楽と脳」、舞台上に上がった先生がお話くださったその内容の面白いこと！！あつという間の90分でした。改めて音楽療法を始めたころの純粋な驚きや喜びを思い出さねばと思ったのは私だけでしょうか。この講演も大ホールに入りきれない会員には小ホールでのスクリーンで見ていただくことになり、ご不便をおかけしました。お許しください。午後からの発表のうち自主シンポジウムでは「国家資格は今！」というタイトルで、学会が今まさに取り組んでいる国家資格への道が示されました。他の会場もたくさんの方が参加者でうめられ、最後まで盛況な勉強の場を提供することができたと自負しております。

閉会式で次の開催地 近畿支部の実行委員長鈴木暁子先生にご挨拶いただき、その瞬間私の役割が終わったことを感じました。たくさん荷物を持って3年間歩き続けてきましたが、ほっと軽くなった瞬間です。一緒に担いでくれた四国支部の仲間々に大きく感謝をし、ここで近畿支部へバトンを渡します。



村井靖児理事長(当時)挨拶



特別講演 茂木健一郎先生とメモリアルトーク
湯川れい子先生

第19回日本音楽療法学会学術大会（大阪）に向けて・第1次案内

大会長 大前 哲彦

第19回日本音楽療法学会学術大会は下記のテーマで、2019年9月20日（金）・21日（土）・22日（日）に大阪国際会議場（グランキューブ大阪、JR大阪駅から無料シャトルバスで10分）を会場にして開催することになりましたので、ご案内申し上げます。

研究と臨床の深化～多様なニーズに応えるために～

このテーマは、実行委員の課題意識を集約して決めたものですが、背景には国家資格実現のために社会的認知を広げるという目標があり、そのために研究と臨床の結合と深化を目指すというものです。「多様なニーズに応えるために」とは、対象者に真摯に向き合うことや隣接専門職との連携を意識したものです。そして、研究発表枠に課題研究発表を復活させることを検討しています。これは個々の会員による自由研究発表だけでなく、学会の当面する研究課題をテーマにした研究発表を公募するもので、共同研究を支援する企画です。近畿で開催された第2回大会で課題研究発表「日本の文化土壌と音楽療法」を公募して研究討議しましたが、第10回（神戸）と第11回（宮崎）で継承（「セラピー場面における関係性の展開」と「音楽の共有時空間」の3テーマに）されたものの、他には広がっていません。これをもう一度、試みまして皆さまに考えていただきたいと思っています。

学術大会の在り方について総会で意見が出されたのを受けて、学術大会構成特別委員会が組織され、大会の色々な改善策が審議されました。第19回大会ではそれらの改善策を具体化し、新たな企画が加わった大会になっています。まず、各種の講演が多くて研究発表時間枠が狭く、重なり過ぎて多くの研究討議に参加できない問題を改善する大会プログラムを検討しています。次に、講習会ですが、大会の実行委員会が企画する従来通りの講習もおこなわれますが、学会の各種委員会で検討されている喫緊の課題に対する講習も新しく加わることになりました。この新しい講習枠は、学会の研修・講習委員会の監修のもとこの第19回大会からスタートします。大会の実行委員会企画の講習会は、本大会テーマを深める視点で、「命」、「研究」、「連携」といったテーマについて連続して受講することで、学びをより深められるようにいたしました。さらに、毎年すぐに満席となるワークショップは、できるだけ多くの方に受講していただけるように、同じワークショップを2枠ずつ設けました。また、ビギナー層を支援するのではなく、ビギナー層の参加者が主体的に活躍できる舞台をご用意したく、開催支部のビギナー層（LSC受講者や認定校の卒業生等）が全国のビギナー層を迎えて交流する企画も計画されています。

市民講座（公募、参加費無料）を兼ねた学術大会の記念講演は、世界的指揮者としてご活躍の傍ら、災害被災地の支援や若手音楽家の支援、子どもたちの授業など幅広い視野で活動されている佐渡裕氏を迎え、益子務会員との対談（仮題「音楽の力」）を予定しています。また、音楽心理学者の星野悦子氏をお迎えし、音楽療法の理論的基礎となる最新の音楽心理学の知見についての講演も企画しています。「同質の原理」の脳科学的実証についてもお話しいただく予定で、会員にとって興味深い内容となることでしょう。

そして、公明党音楽療法推進プロジェクトチーム（MTPT）のメンバー（国会議員）の登壇が既に予定されており、第19回大会を参加者全員で国家資格化に向けて具体的に真剣に考える大会にしていきたいと思っています。一連の国家資格化に向けての国家資格推進委員会のこれまでの経緯と最新情報につきましては、学会HPにアップされています。先日の第18回の高松大会の総会では、音楽療法士の国家資格化と音楽療法の保険点数化の双方を合わせて目指すことが決まりました。「音楽療法を支援する会」への入会者をさらに増やし、各支部での取り組みも提起されています。これらの成果を結集し、第19回大会では、対象者のためになる音楽療法士の国家資格化を見通せる大会にしたいと思います。

会員各位のご参集を何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 日本音楽療法学会 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会

委員長 高山 仁

「人と音楽を探求する—音楽療法における臨床的な視点—」をテーマに掲げ最終年度となる今研修・講習会は、講義・演習・講演と3つの内容で計画しました。1日目（土）は児童と高齢者の研究がテーマです。今回は「研究の発想から考察までを、当日参加の皆様方とともに考え、仕上げていく」という試みです。A会場では、児童を対象とし「個人」に焦点をあて、質・量、そして混合的研究にチャレンジします。担当は高山です。B会場では、高齢者を対象とし、「基礎研究と実践のつながり」についての理解を深め、参加の皆様の各事例を振り返ることにチャレンジします。担当講師は森川泉氏です。

2日目は会場をホールに移し、午前中は河瀬諭氏に「音楽のコミュニケーション」と題し、合奏や鑑賞でのコミュニケーション方略と効果、また音楽によるコミュニケーションが心や身体に与える影響等についてお話しいたします。2コマ目は音楽療法に役立つ編曲法の講義・演習を松田昌氏にお願いしました。松田氏は電子オルガン奏者・作編曲の草分け的存在であり、近年は「鍵盤ハーモニカ」を使った楽しいパフォーマンスを支える音楽の要素について執筆発信されております。副題として～『カエルの合唱』から『りんご追分』まで～として、子どもから高齢者までの実践の助けになること確実です。

午後は「ことばと動作の時間構造～日常の中のアンサンブル～」というテーマで細馬宏通氏にご講演をお願いしました。細馬先生は介護現場でのフィールドワークを通して、介護する側とされる側の相互行為の在り方を身体動作分析という手法で解明しています。私たちの臨床にも応用可能な観察評価や的確なタイミングの声掛け、そしてオノマトペによる現象や動作の「時間構造」など、「神業」とよばれる関わり方の正体を学びたいと思います。また最後は、研修・講習委員会委員長による3年間の「まとめ」です。私たちは、音楽療法の素晴らしさや必要性を確信しているからこそ、視野を広げさらなるチャレンジを課して成長したいと考えています。多くの会員の方々の参加を心よりお待ちしております。

◎プログラム

2019年2月9日（土）講義室 定員各会場150名（予定）

受付12：00～	A会場（児童領域）	B会場（成人・高齢者領域）
13：00～13：10	挨拶・ガイダンス	挨拶・ガイダンス
13：10～14：40	講義・演習1 「個人セッションにおける質・量、混合研究への試み～セッションへのフィードバックを目的とした研究法を探る～」 高山 仁 たかやま音楽療法研究所 主宰	講義・演習1 「基礎研究と実践のつながり ～事例に存在する研究の課題～」 森川 泉 名古屋芸術大学 准教授
14：40～15：00	休憩	休憩
15：00～16：30	講義・演習2 同タイトル	講義・演習2 同タイトル
16：30～17：00	質疑応答・討議	質疑応答・討議
17：00終了		

2019年2月10日（日）グランツザールホール 定員600名

受付08：30～	
09：00～09：15	挨拶・連絡事項
09：15～10：45	講演1 「音楽のコミュニケーション」 河瀬 諭 大阪大学大学院人間科学研究科 招聘研究員 ヤマハ音楽研究所研究員
10：45～11：00	休憩
11：00～12：30	講義・演習3 「音楽療法に役立つ編曲法～『カエルの合唱』から『りんご追分』まで～」 松田 昌 名古屋音楽大学 客員教授
12：30～13：30	昼食・休憩
13：30～15：30	講演2 「ことばと動作の時間構造～日常の中のアンサンブル～」 細馬宏通 滋賀県立大学人間文化学部 教授
15：35～15：55	まとめ 日本音楽療法学会 研修・講習委員会 委員長
15：55～16：00	閉会 連絡事項

*今回の会場は昨年度と同様、東邦音楽大学（川越キャンパス）となります。時間には余裕をもってご参集ください。

*都合により一部講師、内容の変更が生じることがありますことを、予めご了承ください。

*今年度もご要望にお応えして「土・日曜：各一日参加」を設定いたします。是非、ご参加ください。

■ 2018年度資格審査（面接試験）について ■

- 2018年度資格審査（面接試験）を申請できるのは次の方です。
 1. 日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）資格（合格年度に関わらず）を有する方
 2. 日本国外の音楽療法士資格を有する方
 3. 日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格を失効し、再度同資格の取得を希望する方
- 2018年度資格審査（面接試験）申請受付期間
2019年1月28日（月）～2月12日（火）まで事務局必着
- 申請方法
認定規則「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（面接試験）」を取り寄せ、それに沿って申請してください
認定規則（面接試験）取り寄せ方法
500円の定額為替（郵便局で購入）を同封の上、「認定規則（面接試験）請求」として事務局へ送付してください（会員のみが配布対象）
- 書類審査結果
2019年2月下旬頃通知 *書類審査合格者には面接試験の案内を同封します
- 面接試験日
2019年3月9日（土）、10日（日）
*やむを得ない事情により希望日がある方は申請時に書面（書式自由）を同封して申し出てください
*面接試験日時の変更は出来ませんのでご承知おきください
- 面接試験会場
東邦音楽大学 川越キャンパス 埼玉県川越市今泉84
- 面接試験内容
口頭試問と実技（計15分間） *実技に関する詳細は下記をご確認ください
- 試験結果
学会ホームページにて合格者の受験番号を発表後、合否に関わらず3月末日までに文書通知

《2018年度資格審査（面接試験）における実技試験について》

1. 課題曲

面接実技試験弾き歌いのための課題曲は、下記A群（テンポの速い曲群）、B群（ゆっくり目の曲群）の各5曲とする。

A群（テンポの速い曲群）

- ① おどるポンポコリン……………さくらももこ 詞、織田哲郎 曲
- ② 夢をかなえてドラえもん……………黒須克彦 詞・曲
- ③ 南国土佐を後にして……………武政英策 詞・曲
- ④ リンゴの唄……………サトウハチロー 詞、万城目正 曲
- ⑤ 高原列車は行く……………丘灯至夫 詞、古関裕而 曲

B群（テンポがゆっくり目の曲群）

- ① 365日の紙飛行機……………秋元康 詞、角野寿和・青葉紘季 曲
- ② 時の流れに身をまかせ……………荒木とよひさ 詞、三木たかし 曲
- ③ 遠くへ行きたい……………永六輔 詞、中村八大 曲
- ④ 少年時代……………井上陽水 詞、井上陽水・平井夏美 曲
- ⑤ 君をのせて……………宮崎駿 詞、久石譲 曲

2. 実施方法

上記A B各群から2曲ずつ選択し（計4曲）、資格審査（面接試験）申請時に明記する。

申請した曲の中から、当日指定された1曲の弾き歌いを行う。

*弾き歌いで楽譜を見ることは可とするが、それはメロディーのみ・コードネーム・歌詞が記載されている楽譜までとして、伴奏全部が記載されている楽譜の持ち込みは不可とする。

*実技試験は約3分。

3. 使用楽器

会場に設置されているグランドピアノ、または受験者が持参したギターに限定する。

※ギターの譜面台あり。

北海道支部 — 近況 —

支部長 安藤 妙子

支部恒例春の大会は、2018年度総会と第33回支部大会・講習会を5月27日（日）〈医療大学サテライトキャンパス〉において開催されました。

今大会は、大変多くの参加を頂き「発達支援としての音楽療法」～受容と表出からの理解～音と触れ・音に触れることや音の質の大切さを、主野研治先生のビデオやワークショップから深く学ぶことが出来たのではないのでしょうか。

フロアからもたくさん質問があり児童領域の関心の高さが感じられました。

さて、秋の第34回支部大会ですが宮崎敦子先生を講師にお招きいたします。

日時 2018年11月11日（日） 10：00～16：00

場所 北海道医療大学 サテライトキャンパス（札幌市中央区北4条西5丁目 アステイ45 F12）

講師 宮崎敦子氏（特定国立研究開発法人 理化学研究所 イノベーション推進センター）

内容 宮崎先生は、脳と音楽についてfMRIを使い脳を可視化、脳で起こっている現象について研究されている日本でも数少ない方です。我々音楽療法士は、脳と音楽について学びを深め認知症の方々に、適したリズムやテンポを知ること、より良い音楽療法を目指し寄り添って行きたいものです。

11：10～12：00 宮崎先生の講演

「リズムと運動と脳・その1」～リズムで脳は変化する～

13：00～15：30 宮崎先生の講演とワークショップ

「リズムと運動と脳・その2」～リズムで認知機能UP～

北海道支部会員のみならず他支部からの参加も歓迎いたします。お待ちしております。

問い合わせ 北海道支部事務局 〒065-0011 札幌市東区北11条東11丁目2-21

Emai : jmt.hokkaido@gmail.com

詳細につきましては、支部ホームページをご覧ください。



東北支部 — 近況 —

支部長 須佐 凉子

東北支部は、2018年7月21日（土）～22日（日）の二日間、よこてシャイニーパレス（秋田県横手市）において、第18回日本音楽療法学会東北支部学術大会、総会を開催いたしました。他支部からもご参加頂き、お陰様で盛況のうちに大会を終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

2018年度講習会は、松尾香織氏を講師にお迎えいたします。

日時：2019年3月3日（日）

I 講目：11：00～12：30 II 講目：13：30～15：00

会場：日立システムズホール練習室1（宮城県仙台市）

講師：松尾香織氏（野花の座・日本音楽療法学会認定音楽療法士）

テーマ：「音で伝える・音でつながる」総括編～「共感の力」をセッションに！～

内容：高齢者の音楽療法の経験や楽曲を含め、人と人が関わりつなげるための「共感の力」という視点から領域を超え、

講義やワークを通じて参加者の方々とシェアする主体的な企画といたしました。

東北支部会員のみならず他支部会員のご参加も歓迎いたします。

問い合わせ：東北支部事務局 〒020-0117 盛岡市緑が丘2丁目14-43 渡邊方

Email : jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp

関東支部 — 近況 —

事務局長 猪之良高明

1. 関東支部大会・講習会（神奈川大会）開催について

第18回日本音楽療法学会関東支部 地方大会（神奈川）が2019年11月23日（土・祝日）カルッツかわさき（川崎市スポーツ・文化総合センター）において開催されます。「ともに生きる～音楽がつくる絆（仮）」を大会テーマに様々な企画で皆様をお迎えしたいと思います。

詳細については、関東支部ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。また、関東支部会員のみならず他支部会員の参加も歓迎いたしますので、ぜひお越しください。

2. 講習会のお知らせ

関東支部では会員ニーズに応えるべく、関東支部大会・講習会以外にも様々な講習会を企画しております。①都県別講習会②支部研修講習会③ラーニングサポートセンター研修会等々の開催を予定しております。支部以外の会員や一般の方も参加可能な研修もあります。

2018年11月以後の研修予定

◎第9回 LSC ラーニングサポートセンター講習会

日時 2018年12月2日（日） 10:00～16:30

会場 日本福祉教育専門学校高田校舎

ワークショップ ピアスーパービジョンを通じた学びと仲間作り

定員 40名 講師未定

◎第9回研修講習会

日時 2019年2月24日（日） 10:30～16:00

会場 日本福祉教育専門学校高田校舎

講演及び事例発表 講師未定

事例発表希望者は、サポーターの助言を受けながら事例を事例発表まで完成させていただきます。

定員 90名

◎都県別講習会（千葉県）

日時 2019年2月10日（日） 10:00～16:00

会場 市川市文学ミュージアム グリーンスタジオ

内容 メインテーマ 音楽療法での対人援助について

午前 石村和美氏（看護師）講演：緩和ケア病棟での音楽の役割

午後は千葉県の会員による事例発表と検討

いずれの案内も、日程や会場が変更になる場合がありますので、詳細は関東支部ホームページをご確認ください。

関東支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/>



信越・北陸支部 — 近況 —

事務局長 丸山 敬子

信越・北陸支部では、平成30年6月2日（土）～3日（日）、第16回支部学術大会（大会テーマ「音楽療法の現状と展望－現場から必要とされるには－」）大会長 奥野 貴代乃氏）を福井県敦賀市きらめきみなと館小ホールにおいて開催しました。「保健、医療、福祉、教育などの状況が大きく変動する中、音楽療法が各現場で必要とされるには、どのような音楽的行為や工夫が必要かを考察する」との観点でプログラムが組まれた大会でした。

1日目は研究発表と参加型シンポジウムを行いました。研究発表では児童・終末期・高齢者の事例検討を行い、参加型シンポジウムでは言語聴覚士、音楽療法士の提言をもとに、グループ討議を行いました。2日目は総会后、公開講演会として、石井バークマン麻子氏（福井大学教育学部長）より「障がいのある人の自己表現における音楽の可能性－スウェーデンの特殊教育者の視点から－」と、青拓美氏（青音楽研究所）より「対人援助職のためのボイストレーニング－響き合う声とは－」の2題が行われました。2日間を通して、音楽療法の原点である「臨床で音楽を使うこと」の意義を再認識しました。

信越・北陸支部は各県間の交通アクセスが不便です。しかし、支部学会は顔の見える有意義な交流の場となっておりますので、今後も風通しのよい活動をしていきたいと考えております。

また、団体登録されている研究会等は現在9団体で活発な研究・研修活動が行われております。来年の第17回支部学術大会は6月16日に石川県小松市で開催予定です。

東海支部 — 近況 —

事務局長 伊藤 孝子

東海支部では昨年度、第9期東海支部役員選挙が行われ、16名の役員が選出され、互選により支部長に久保田進子氏、副支部長に鶴飼久美子氏、事務局長に伊藤孝子氏が就任しました。

現在は2019年3月に名古屋芸術大学で行われる東海支部研修会、大会に向けての準備に取り組んでおります。

また、2019年度には、第10期役員選挙、東海支部紀要（第7巻）発刊が予定されておりますので、それらに向けても役員会にて準備を進めていく所存です。



近畿支部 — 近況 —

事務局長 佃 誉子

近畿支部では2019年3月16日（土）・17日（日）に、和歌山県和歌山市にあります県民交流プラザ「和歌山ビッグ愛」にて、第17回近畿学術大会を開催します。この近畿学術大会の開催に向けて、大会実行委員会と支部講習会企画委員会により準備を進めています。大会1日目は、研究発表、ラウンドテーブルや交流会、大会2日目は講習会で、7つの講習を企画しています。

和歌山の地では初めての近畿学術大会開催となります。和歌山は豊かな自然と歴史に恵まれ、人々の心身をゆったりと休ませ、エネルギーチャージをさせてくれる雄大な基盤をもった地です。また、会場となる「和歌山ビッグ愛」はJR和歌山駅からバスで5分、徒歩でも15分程の便利なところにあります。他支部の方も歓迎いたしますので、どうぞご参加ください。詳細は近畿支部ホームページをご覧ください。（<http://www.jmtak.com/>）

2002年より発行しています『近畿音楽療法学会誌』は、原著論文や事例研究、近畿学術大会講習会の概要、近畿支部活動記録の他、上記ラウンドテーブルの報告記事も掲載しています。購読をご希望の方は近畿支部事務局（jmtak@guitar.ocn.ne.jp）、またはアカデミア・ミュージック株式会社（03-3813-6751）までお問合せください。



中国支部 — 近況 —

支部長 武田千代美

7月の西日本豪雨災害により、被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

また、北海道の地震災害で、被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

皆様のご安全と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

中国支部は、第18回中国支部大会、第25回支部主催講習会を、6月2日、3日の両日、岡山シンフォニーホールにて開催しました。

第1日目の支部主催講習会は、岡山旭東病院院長の土井章弘先生に、「病院における癒しの環境 ～医療とアートの融合～」、また、国際日本文化研究センターの光平有希先生に、「明治期日本音楽療法の諸相」と題した、大変興味深いご講演をいただきました。

第3講では、私が、「音楽療法実践のヒント ～高齢者のための音楽療法実践の現場から～」と題してお話させていただきました。

第2日目の支部大会は、「共に支えるチームケア ～クライアントを取り巻く人々の心を通わせる音楽療法」を大会テーマに掲げ、大会長を務められました、筒井恵子先生のご講演と、シンポジウム、研究発表を企画し、併せて会員総会を開催しました。筒井先生、シンポジストの皆様から、それぞれの実際の現場での興味深いお話を頂き、チームケアについて多方面から再考する機会を得ました。

研究発表では、それぞれの発表にコメンテーターによる助言を加えることとしました。実践のあり方、研究の方法、発表の方法、抄録の書き方などに、この大会の参加者全員で考え、語り合い、学び合う機会が持てました。

開催に際しまして、ご協力を賜りました関係各位に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

中国支部は、今年度もLSCを開催します。皆様の積極的なご参加をお待ちいたしております。詳しくは中国支部HPをご覧ください。

四国支部 — 近況 —

事務局 藤井 澄子

四国支部は、高松において第18回学術大会と講習会の3日間の日程を終了しました。天候にも恵まれ、全国から1500名に近く皆様をお迎えすることができました。2009年の松山大会に続き2度目の全国大会をお引き受けいたしました。今回は香川県を中心に、4県からスタッフが参集し、ボランティアを含めてお世話をさせていただきました。狭い会場もあり、お荷物を持たれてのご移動など、至らぬ点多々あり、ご迷惑をおかけいたしました。皆様の大きなお心でお救しをいただき、何とか乗り切ることができました。ご参加いただきました全国の皆様、本当にありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

今年度の支部大会は全国大会と合わせ、次年度（2019）の支部大会は徳島県で開催されることが決まっています。詳細はホームページでお知らせいたします。

現在支部会員数は152名で、その内音楽療法士の資格取得者は71名です。資格は目指さないが勉強をしたいと思われる会員もたくさんおられます。今秋には役員改選があり、新体制でスタートします。これも決まり次第お知らせいたします。



九州・沖縄支部 — 近況 —

支部長 齋藤 考由

2020年の第20回学術大会を、熊本市の「熊本城ホール（2019年度中に竣工予定）」にて10月2～4日の日程で開催することを決定しました。当支部としましては、2016年4月に震度7の激震を二度にわたり経験し、熊本城を含め甚大な被害を被った熊本地方の復興を支援する意味も含めてお引き受けしようと決意したところです。

これまでに地元熊本の会員を中心に組織した実行委員会をすでに3回開催し、熊本市、熊本県当局との話し合いの場を設けて支援をとりつけ、さらに学会運営会社についても地元の業者を含めた複数社による競争入札の形で選定することとするなどこれまでになかった工夫も重ねて、できるだけ学会自体や会員の皆さんへの経済的負担を少なく開催することを目指して準備してまいります。どうぞ、会員の皆さんには被災地支援へ賛同の意思表示もあわせ、多数ご参加いただきますようご協力をお願い申し上げます。

学会事務局からのお知らせ

■ 2018年度（補）資格試験を申請される方へ

2019年1月13日（日）に実施されます2018年度音楽療法士（補）資格試験の受験申請受付期間は、2018年11月16日（金）～11月30日（金）まで必着です。なお、試験の実施会場は東京会場（日本教育会館）1ヵ所のみです。（補）試験に関する詳細は、学会ニュース35号8ページをご確認ください。

※必修講習会コース（旧一般コース）から（補）資格試験を申請される方は、「証明書現物返却用封筒」への切手貼付けは不要となりました。

■ 2018年度資格審査を申請される方へ

2018年度資格審査の申請（面接試験）期間や申請方法等につきましては、9ページをご覧ください。

■ 2018年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

2018年10月31日（水）までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2019年2月初旬までに通知されます。

■ 「団体総合保障保険」のご案内

音楽療法士の業務保険を同封のパンフレットのとおりにご案内します。保険については加入を希望される方はパンフレット綴じこみの「保険申込FAX連絡票」にて記載の期日までに事務局まで加入依頼書を請求してください。この保険は日本音楽療法学会会員専用として特別に設定したものです。加入者が少ない場合廃止となりますので奮って加入いただきますようお願いいたします。

なお、この保険についてのお問い合わせはTEL：044-200-9421のセントラル保険までお願いします。

■ 認定音楽療法士対象 ピティナとの情報共有サービスについて

一般の方々への「音楽療法士資格を保有するピアノ指導者」の情報提供を目的として、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（以下、ピティナ）との間で、学会認定音楽療法士有資格者の情報共有サービスを開始しました。条件を満たす方はピティナ Web サイト上のピアノ教室紹介ページに「音楽療法士マーク」を無料で表示することができます。ご希望の方は下記に沿ってお申し込みください。

対 象 者：日本音楽療法学会認定音楽療法士 かつ ピティナ会員である方。

申込方法：会員名、学会とピティナ両方の会員番号を明記の上、「ピティナ ロゴマーク表示希望」として学会事務局宛にメールをお送りください。

メールアドレス jmta.ptna@jmta.jp

注意事項：申し込み先はピティナ事務局ではございません。

申し込み後、ロゴマークの表示までに日数を要しますのでご了承ください。

認定音楽士資格が失効した場合、ロゴマークの表示は中止されます。



■ 「スーパービジョンの手引」のご購入について

スーパービジョン検討特別委員会編纂の「スーパービジョンの手引」が発行されています。（A 4版60ページ、2015年8月発行）購入を希望される方は21～22ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B 5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は21～22ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 〈DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～〉のご購入について

15分間の音楽療法の啓発DVDが発売されています。購入を希望される方は21～22ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。(一般の方に視聴していただくのに最適です。)

■ 映画「パーソナルソング」DVDご購入について

音楽療法関連の表記映画のDVDが発売されています。学会割引価格で頒布しますので、購入希望の方は21～22ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧の上お取り寄せください。

頒布価格1枚3,000円(税込、送料込)。(定価4,104円、税込)

■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページより各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択し、規則書ファイル(PDF)をダウンロードしてご覧ください。

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバーの購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社

TEL: 03-3813-6751 FAX: 03-3818-4634

■ 会費(年会費)納入のお願い

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2017年度分未納の方は、このまま滞納が解消されない場合、2019年3月末にて会費未納退会となります。この場合、再入会はできません。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円

購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円/1口

払込先 郵便振替口座 加入者名: 日本音楽療法学会 口座番号: 00120-9-657711

■ 各種資料取り寄せ方法

各種資料のお取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、希望資料の内容を明記した封筒(例、規則書一般コース 請求)に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

資料		金額(送料込)
認定規則書	必修講習会コース(旧一般コース)	500円
	面接試験	500円
	資格更新	500円
認定音楽療法士(補) 問題解説集	2001～17年度単年度版 ※希望年度を明記してください	各1,000円
	2001～05年度、2006～10年度、 2011～15年度、五ヶ年分合冊版 ※希望年度を明記してください	各2,000円
その他	抄録の書き方	1,000円
	スーパービジョンの手引き	1,000円
	倫理ハンドブック	500円
	特別プロジェクト研究報告	500円

DVD	音楽の力2012 ～音楽療法が拓く可能性～	1,000円
	映画 パーソナルソング	3,000円
学会誌、学術大会要旨集、 学術大会資料集（2018年度）	日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバー、学術大会要旨集（第15回世界音楽療法大会含む）のバックナンバーは学会事務局では取り扱っておりませんので下記までお問い合わせください。 アカデミア・ミュージック株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634	

■ 事務局への各種お届けについて

● 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、学生証のコピーを添付の上、同様に事務局へ届け出てください。

※学生会員は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません。ご注意ください。

※認定をお持ちの方、必修講習会を受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

● 住所・名義変更

市町村の合併などをめ住所および連絡先に変更がある方、名義を変更される方は、学会HPから、もしくは事務局宛に文書にて変更を届け出てください。書面で提出する場合の書式は自由です。

※学会認定資格をお持ちの方はローマ字氏名も明記してください。

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

○音楽療法士（補）資格証明書、学術大会参加証明書（第6回大会から）講習会受講証明書、など
手数料：500円

○音楽療法士登録証明書、賞状
手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含みます。

※3×4 cmの顔写真、現在お持ちの登録証明書と賞状を同封して、学会事務局までお送りください。

※登録証明書・賞状ともに再発行する場合も、一方のみを再発行する場合も、手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、氏名のローマ字表記を明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償で直接雇用のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ ホームページ「事務局からのお知らせ」新設について

学会ホームページのトップ画面に「事務局からのお知らせ」欄を新設しました。会員向け発送物等を掲載します。対象の方で発送物が届かない場合は事務局までお問合せください。

定款はニュース35号P.24～をご覧ください。